

フードテック官民協議会 総会/提案・報告会 議事概要

日 時：令和5年2月21日（火）14時00分～17時15分

場 所：ステーションコンファレンス東京（Web併催）

出席者：食品企業、ベンチャー企業、研究機関、関係省庁等関係者（約260名）

議 事：（1）議長の選出

（2）フードテック推進ビジョン及びロードマップの決議

（3）フードテック分野における支援策の説明

（4）令和4年度昆虫の輸出に係る規制調査委託事業の報告

（5）有識者講演

「脳から考えるフードテック」

一般社団法人応用脳科学コンソーシアム 理事・事務局長 萩原 一平 氏

（6）フードテック官民協議会のワーキングチーム（WT）、

コミュニティサークル（CC）の活動報告

（昆虫ビジネス研究開発WT、細胞農業WT、サーキュラーフード推進WT、

食生活イノベーションWT、スマート育種産業化WT、

Plant Based Food普及推進WT、ヘルス・フードテックWT、

細胞農業CC、FOOD TECH Lab CC）

（7）食料・農業・農村基本法の検証・見直しについて

（8）ネットワーキング

■議事（1）について

フードテック官民協議会規約（以下、単に「規約」という。）第12条に基づき、議長に公益財団法人日本植物調節剤研究協会 理事長 大谷 敏郎 氏を選出した。

■議事（2）について

2022年度中にフードテック官民協議会で策定することとされているフードテック推進ビジョン及びロードマップの案について、農林水産省から資料に沿って説明した。

規約第8条、第14条及び第15条に準拠し、両案について、出席した会員の決議を行った結果、投票115名のうち、賛成109票、反対1票、棄権5票となり、フードテック推進ビジョン及びロードマップは可決された。

■議事（3）について

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部、経済産業省中小企業庁、ベンチャーキャピタル（アグリビジネス投資育成株式会社、株式会社SDGインパクトジャパン、Beyond Next Ventures株式会社、Future Food Fund株式会社、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、リアルテックホールディングス株式会社）及び株式会社日本政策金融金庫から資料に沿って説明した。

■議事（4）について

株式会社矢野経済研究所から資料に沿って説明した。

■議事（5）について

講師から資料に沿って説明した。

講師は質疑に答え、食にまつわる脳的意思決定と行動の仕組み等について説明した。

■議事（6）について

各WT・CC事務局から、前回の提案・報告会以降の進捗状況等を資料に沿って説明した。

■議事（7）について

農林水産省大臣官房政策課から資料に沿って説明した。

■議事（8）について

現地会場において、出席者同士の交流を図った。

以上